



2011年 9月6日

みなさん、こんにちは。『山下清展』は、8月28日に終了。ご来場の皆さま、ありがとうございました。

● 大好評のうちに『山下清展』終了

夏季特別展『放浪の天才画家 山下清展』が幕を閉じました。総観覧者数は、53,512人。当館のこれまでの記録を大きくぬりかえました。

最後の2日間は一時、展示室への入場制限を行いました。渡り廊下から2階のお手洗い付近を過ぎるほどに列が伸びた時間帯もありました。



館入口付近の混雑の様子



最終日、閉館後の展示室で

会期中、駐車場は常に満車状態、受付は長蛇の列、トイレは午前中にペーパーがなくなり、そして最終日には図録が品切れする…など、普段考えられないことがあちこちで発生。おまけに、山下清の貼絵に導かれてか(初期作品は昆虫がモチーフ)、トンボなどの昆虫が館内にまぎれこむこともありました。

とはいえ、44日間の会期中大きな事故もなく、最終日を終わることができました。多くの皆さまにご来場いただき、まことにありがとうございました。

● 開館20周年記念 企画展『館収蔵品展-絵画と書の世界-』のご案内



三木翠山《美人花掬図》

明石市立文化博物館は1991年10月に開館し、今年で20周年を迎えます。

本展では、20年間で集めた所蔵品の中から絵画と書に焦点を当て、江戸時代から現代に至るまでの作品約60点を展示します。明石藩の儒学者として活躍した梁田蛻巖(やなだぜいがん)および橋本海関(かいかん)の書や、明石生まれの近代画家・寺島紫明(しめい)の美人画のほか、海関の息子・橋本関雪や播磨生まれの画家・三木翠山(すいざん)など、兵庫ゆかりの作家の優品も紹介します。初公開資料に加え、郷土作家シリーズで紹介した作品の一部もあわせて展示し、地域の芸術文化に広く親しんでいただけます。また、これまでに開催した展覧会を紹介するコーナーを設け、文化博物館の20年の歩みをふりかえります。

会期 = 9月10日(土)~25日(日) 会期中無休

開館時間 = 午前9時30分~午後6時30分(入館は閉館の30分前まで)

観覧料 = 大人200円 大高生150円 中小生100円

関連イベント ※観覧券が必要です ※いずれも申込不要

■ 学芸員による作品解説

9月11日(日)、18日(日)、23日(金・祝) 午前11時~午後2時~(30分程度)

■ ロビーコンサート 9月24日(土) 午後2時~(30分程度)

出演: 小林聡子(ピアノ)、藤波真理子(ピアノ)、井上佳那子(バイオリン)、松井るみ(ソプラノ)